

# 生徒が学習しようと思えるような仕掛けづくり

～ 三重県 四日市市立三滝中学校 ～

# 学クラ新聞

第23号  
Vol.2



四日市市教育委員会では、四日市市独自の学習支援教材、学んでE・n・e・t!として、みんなの学習クラブタブレットを活用しています。今回は、学校現場での活用について、四日市市立三滝中学校での授業や帯の時間での取り組みをご紹介します。

- ◆主な活用シーン
- ・授業・家庭学習・自主学習
- ・帯の時間(帰りの会)・テスト

さまざまな場面で活用し、授業と個の学習をつなぐ

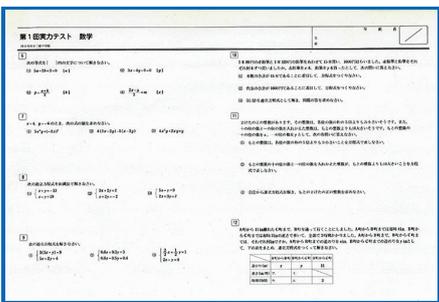
三滝中学校では、授業をはじめ、帯の時間(帰り学習)・家庭学習など、さまざまな場面でプリントを活用しています。先生同士で話し合い、iプリをどこん活用するためさまざまな工夫をしています。先生は、iプリで課題を出したり、テストを作成したりして活用しています。生徒は、先生からの課題をきっかけに帯の時間や家庭学習などで、日常的に、主体的に学習しています。

## ◆授業の課題プリントとして

授業では、iプリを演習プリント(共通/選択課題)として個に応じて活用しています。また、オンライン授業をしていた9月は、生徒が家庭からアクセスして、先生からの課題を演習プリントとして取り組みました。

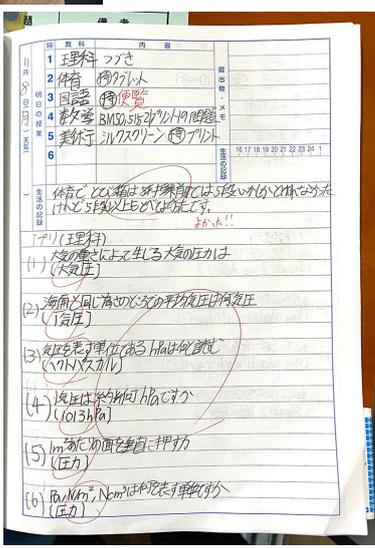
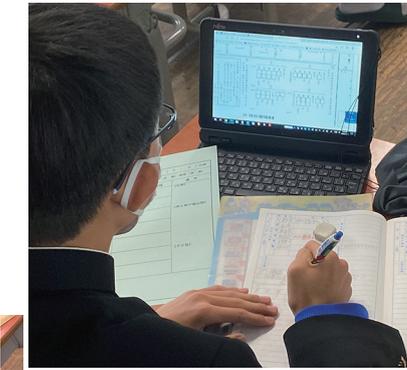
## ◆実力(確認)テストの問題を作成

先生は、単元テストや編集プリントから問題を組み合わせ、実力(確認)テストを作成します。テストでは、普段学習をしているiプリの類題を出題しました。iプリを学習していた生徒は、「できた!」と感じることができ、その後もiプリを活用した学習に意欲的に取り組むようになりました。



## ◆帰り学習の演習で

帰り学習(帯の時間)の10分間の教材の一つとして、iプリを活用しています。各学年、先生が学習のメニューを決めています。iプリ番号を提示し、学習を進めていきます。生徒はみんなの学習クラブタブレットにログインし、「自主学習ノート」に書いて学習します。自分のペースでタブレットを使って答え合わせをして、学習を進めています。先生からの課題が終わったら別のプリントを選んでさらに学習することもできます。



# 学習計画・学習方法を伝え、主体的な学習を引き出す工夫

三滝中学校では、生徒自身で主体的に学習をする力をつけるため、生徒が学習計画を立てたり、学習方法が学べたりするような取り組みをしています。

## ◆学習計画を立てる習慣

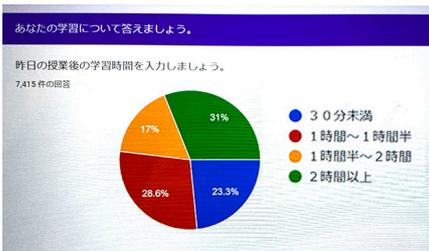
### アナログで

普段から「自主学習ノート」という毎日の予定帳で生徒の健康観察などのやりとりをしています。その中に、学習の項目を追加し、「今日どんな学習をしたか」という計画や「今日どんな学習をしたか」という振り返りを書く習慣を作っています。

### タブレットで

2学期から少しずつ、これまでアナログでしていた「自主学習ノート」をアンケートフォームでも行うようになりました。

毎朝の健康観察と一緒に、学習の項目を作りました。今日の学習に「iプリ数学」などと入力して、学習の計画を立てています。タブレットで行うことで、学習時間や学習内容まで残せるようになりました。



## ◆定期テストを事前に体験する

小学校と中学校では学び方が大きく変わるため、1年生の定期テストにつまずいてしまう生徒が少なくありません。その対策として、1年生の中間テストの前にプレテストを実施します。プレテストを体験することで、テストの形式に慣れることができ、定期テストに向けて、どんな学習が必要かを知ることができます。

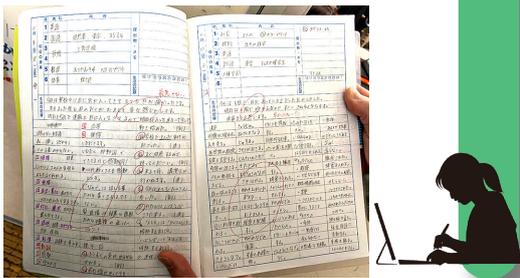
## ◆学習の必要性を実感し、主体的な学習を引き出すテスト

定期テストや実力(確認)テストや小テストの中に、iプリの問題、または類題を入れることで、iプリで学習していた生徒は「学習すればよかった!」と学習の必要性を実感できます。必要な学習や学習方法がわかると、生徒自身で意欲的に学習するようになってきます。

ただ単に学習内容が理解できているかを試すテストではなく、「iプリをしつかり学習すれば、点数が取れる」テストを作成するように心がけています。生徒が少しでも学習に向かおうと思えるきっかけを大切にしています。

## ◆生徒の変化

夏休み以降、タブレットの持ち帰りをしていきましたが、普段の授業などで、iプリでの学習を進めていることで、生徒からタブレットを持ち帰って学習したいという声が出てきました。「自主学習ノート」にもびっしりと書いて学習を進めている生徒もいて、自分にあった学習を自分で考えて、意欲的に学習に取り組んでいます。



## 活用促進のポイント

三滝中学校の先生方がiプリを一つのツールとしてしっかりと活用するために意識していることをご紹介します。

### ◆主体性を高める

- ・生徒が計画を立てる・目標設定をする
- ・教師が自主学習ノートで確認する
- ・教師が自己評価をチェックする

### ◆組織で高める

- ・学校が計画を立てる時間をとる
- ・学校が全校・学年でE-net timeを月に一回つくる
- ・学校がE-net 家庭学習強化週間をつくる

### ◆効果を高める

- ・生徒が結果・成果を実感できる
- ・教師がテストと連動する
- ・生徒が自分の弱点とつなげる
- ・生徒が受験の問題とつながることを知る

### ◆必要性を高める

- ・どうすれば必要がうまれる?
- ・授業の確認問題、発問、小テストなどを
- ・宿題にした内容を同じプリントNoでテスト

